

単元名:韓国グルメ旅行

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	食	言語レベル	1	必要時間数	6時間

I 単元目標

食事についての基本知識を学習してから韓国グルメ旅行に行き、食べたいものを伝えて注文し支払うことができる。また、お店の人に料理の味についての簡単な感想を言ったり、あいさつしたりすることができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 食堂であいさつ、料理の注文、簡単な感想をいう、お勘定など、お店の人とやりとりすることができる。 ◆ インターネットやガイドブック等で、よさそうな店や値段を調べて理解することができる。 ◆ お店の情報を見て理解することができる。 ◆ 韓国で食べたい料理を韓国語でリストアップすることができる。 ◆ 従業員に持ち帰りを依頼することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 韓国での食事の食べ方や残し方、調味料・はし・スプーン、飲食店での注文と支払いの仕方、どんな店で何を食べられるかなどについて観察し、異同に気づくことができる。 ◆ 食事のときのマナーとタブー(あいさつなど)について、日本との違いに着目し、その背景について考えることができる。 ◆ 韓国の代表的な食べ物について知り、そこから韓国文化の特徴について考えることができる。 ◆ 日韓の食文化のつながりに、日常生活の中で発見し、自分の食生活との関連について考えることができる。 <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 店や値段についてインターネットや本で調べることができる。(情報活用) ◆ クラスで旅行中の食事について計画を立てることができる。(協働) ◆ 日韓の食事情から、食文化の伝わり方やファーストフードのグローバル化、グローバル化について考えることができる。(知識理解) <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>

コミュニケーション能力指標	<p>【食】</p> <p>1-a. お店の看板(レストラン、食堂、ファストフードなど)を見て理解できる。</p> <p>1-b. レストランなどで、従業員を呼ぶことができる。</p> <p>1-c. 必要なもの(メニュー、箸、皿、紙ナプキンなど)を、要求することができる。</p> <p>1-d. 食べたいものや飲みたいものを、メニューのなかから探すことができる。</p> <p>1-e. メニューを指さして、数量や有無を確認しながら注文できる。</p> <p>1-f. 料理の味や状態についての簡単な感想(おいしい、甘い、辛い、薄い、熱いなど)を述べたり、受け答えをしたりできる。</p> <p>1-g. 残った料理を持ち帰りたいと頼むことができる。</p> <p>1-h. お店で食事の会計をすることができる。</p> <p>1-i. 食べたい料理やおいしいと思った料理、行きたい店や気に入った店の名前などを、メモできる。</p> <p>1-j. 食事時によく言う表現(いただきます、ごちそうさま、召しあがれなど)を使って、口頭でやりとりができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>
---------------	---

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 看板やメニューをみて理解する。(店やメニューの分類、マッチング) ◆ 言われた値段を理解する。(正しく聞き取り、確認する方略) ◆ 食事に関する慣用表現や感想の表現を使ってロールプレイする。(表現の適切な使用、伝わる発音とイントネーション、流暢さ、積極的な表現力) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 食べたい料理を注文して代金を払う。(メニューの理解、注文のしかた、正確な計算、店員との積極的で適切なやりとり) ◆ 帰国後日本語でレポートをまとめ、クラスメートを前に発表する。(分析ポイントの的確さ、内容の豊富さ、興味関心をひく表現力)

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆クラスメートに食べたい(飲みたい)韓国料理をきいて、みんなの料理の好みを調べる。(インタビュー)【1-f,i】</p> <p>◆友だちと料理の好みを尋ねる。【1-f】</p> <p>◆お店の看板と料理の写真をマッチングする。【1-a】</p> <p>◆味に関する基本的な語彙を学習し、韓国料理の写真やイラストを使いながら料理と味のマッチングをする。【1-f】</p> <p>◆食堂に入って使う基本的な表現と、値段の言い方を学習し、テーブルで食べたい料理と数量をまとめてお店の人に頼むという食堂のロールプレイをする。【1-e,f】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> G高校の韓国語のクラスでは、日ごろの学習の腕試しも兼ねて、韓国グルメ旅行にでかけることにした。</p> <p><活動の流れ> 分担して韓国の日本料理や日本の韓国料理、日韓のファーストフード、韓国の代表的な料理などについて調べ、韓国の食事情の全体像を把握し、日韓の食文化の共通点や相違点について話し合ったうえで、各自韓国で食べたい料理を韓国語でリストアップする。インターネットやガイドブック等で、よさそうな店や値段を調べる。みんなでリストを持ち寄って、どこの店に行くか決める。</p> <p>韓国でお目当ての食堂を探して入り、お店の人に料理を注文する。時間があまりないこと、自分の味の好みや苦手なものなども伝える。出てきた料理の味について、お店の人に簡単な感想を言ってから、多くて食べきれないので残った料理を包んでもらうことを依頼する。食事後、お店の人にあいさつをし、料金を払って店を出る。お店の情報をメモしておく。</p> <p>帰国後、韓国のどこに行つて何を食べたか、韓国と日本の飲食店ではどう違うか、日本でも日常的に食べられる韓国料理や、韓国から輸入している食材などについても、旅行の準備段階、旅行中に分かったことに、不足情報を調べて追加して、日本語でレポートにまとめて、クラスメートの前で発表する。</p> <p>ヒント☞ ◆現地に行けないときは日本国内で韓国語を使って食事できるところに実際に行ったり、教室の中でロールプレイをおこなう。この場合、行ってみたいお店の情報を日本語で紹介する。 ◆食べた感想や食べた場所について、日本と比べて気づいたことを書き、写真とともにブログなどに載せてもよい。</p>	
<p><使用教材・教具> 韓国料理のメニュー(写真付き)、韓国の飲食店の看板写真、味のカード、メニュー、メニュー注文書、ガイドブック、韓国地図</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 일본에서 왔어요. /여기요. 메뉴판 있어요? /주문 좀 받으세요. /비빔밥하고 김치찌개 두 개 주세요. /시간이 별로 없어요. /빨리 주세요. /물 좀 주세요. /불고기 먹고 싶어요. /고기를 2인분 더 주세요. /반찬 더 주시겠어요? /잘 먹겠습니다 어떻게 먹어요? /너무 맛있네요. /조금 맵지만 맛있어요. /고맙습니다. /너무 많아서 다 못 먹어요. /가져 갈게요. /포장해 주세요. /잘 먹었습니다. /얼마예요? /따로 따로 계산해 주세요. /감사합니다. /수고하세요.</p> <p><表現のポイント> 아·어 주세요. /—하고 —주세요. /—지만 /—고 /못 —아·어요. /助数詞と数詞</p>	<p>会計に関する単語(얼마, 원, 漢数字:十、百、千、万、인분, 固有数字+병, 개, 따로 따로, 잔돈, 영수증), 있다, 없다, 먹다, 마시다, 주문하다, 시키다, 맛있다, 맵다, 포장하다, 계산하다, 메뉴ーに関する単語(메뉴, 고기, 야채, 반찬, 콜라, 주스, 보리차, 물, 식사, 탕, 찌개, 국, 면류, 밥, 떡볶이, 안주류, 음료, 후식, 밀반찬), 食事に関する単語(젓가락, 숟가락, 접시, 개인접시, 컵, 병, 빵따기, 국자, 물서건)</p>	<p><事象> ◆食べ方と残し方 ◆調味料、はし、スプーンなど ◆店の種類と料理の種類 ◆飲食店での注文と支払いの仕方 ◆食事のときのマナーとタブー(あいさつなど) ◆韓国の代表的な食べ物 ◆韓国の日本料理や日本の韓国料理、日韓のファーストフード</p> <p><事象のポイント> ◆食事の食べ方や残し方、調味料・はし・スプーン、飲食店での注文と支払いの仕方、どんな店で何を食べられるか、について韓国ではどうかなどについて観察し、気づくことができる。 ◆食事のときのマナーとタブー(あいさつなど)について、日本との違いに着目することができる。(挨拶をするときのタイミングの差、年長者が先に箸をつける) ◆韓国の代表的な食べ物について理解することができる。 ◆どんな日本料理が韓国で、韓国語料理が日本で食べられるか、それぞれ元の作り方や味と同じか、同じファーストフードや異なるファーストフードがあるかについて知り、食文化の伝わり方について考える。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋	
韓国の飲食店、日本の韓国料理店	家庭科(料理の種類、食材、調味料の比較)	